

ピアノⅡ Applied Piano Ⅱ

(単位数) 2単位
(開講時期) 後期 火曜 4限
(対象学年) 2年

(担当職員) 杉山哲雄・大瀧郁彦
(教員室) 第5研究棟(音楽棟) 207・206室
t-sugiy@ynu.ac.jp
(オフィスアワー) 火曜 5限

【授業の目的】

西洋音楽の形式の中で最も重要なソナタ形式について学ぶことを中心とする。古典派の作曲家のソナタを、分析を踏まえた楽曲構造として捉えながら、表現の基礎と可能性を実践的に学ぶ。

【授業概要】

1. ピアノⅠの確認と今後の展開方法について
2. ～14. それぞれの能力に合う楽曲を選択し、問題点を明確にした上で、表現力・表現技術の習得を目指す。習熟度に応じた指導が中心となるので、詳細については授業時間内に各自に対して説明する。
15. 試験

【授業方法】

各自毎回与えられる課題を、十分な予習と復習をとおして独自の解釈と工夫を凝らしてくる。適宜レポートを課す。また期末の試験は暗譜での演奏とする。

【履修目標】

1. ピアノ奏法の基礎とその応用
2. 古典派の楽曲構造と表現の関係
3. 楽譜の意味と楽語の理解
4. 伴奏法

【成績評価の方法】

出席は全授業数の2/3とする。出席50%、期末試験50%

【教科書・参考書】

ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンのソナタ等

【履修条件】

ピアノ既習者であり、一定の読譜力、演奏技術を習得していること。ピアノⅠを履修済みであることが望ましい。

【その他】

原則として学校教育課程音楽専門領域所属学生、および中学校音楽の教員免許状取得希望者のみを対象とする。それ以外の履修希望者は、必ず事前に相談すること。